

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災交流センター施設整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 危機管理政策課 管理調整係 電話番号：058-272-1111 (内 2413)

E-mail： c11117@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 39,660 千円 (前年度予算額：129,514 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	129,514	0	0	0	0	0	0	116,500	13,014
要求額	39,660	0	0	0	0	0	0	35,600	4,060
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

防災交流センターは、大規模災害により県庁舎が被災し、通信機能が麻痺した場合のバックアップ施設として、災害対策の拠点の役割を果たすため、平成11年に開館し、3階の電子計算機室には各種情報システムのサーバーが設置されており、行政情報システムのインフラ施設としての機能も有している。

開館から20年以上が経過し、施設設備の経年劣化等がみられるため、計画的な更新を行う。

(2) 事業内容

- ・ 直流電源装置 蓄電池、整流器更新工事
- ・ 通信・情報設備更新事業 (テレビ共同受信装置、放送設備)
- ・ 給排水設備ポンプ等更新工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設であることから県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
修繕料	3,180	放送設備、テレビ共同受信装置
工事請負費	36,480	直流電源装置蓄電池、給排水設備ポンプ
合計	39,660	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画での位置づけを行っている。

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

施設設備の状況に応じて計画的に修繕等を実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設であることから県負担が妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 直流電源装置蓄電池・整流器、通信・情報設備、給排水設備ポンプを令和4年度に更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

施設設備の更新事業であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 岐阜県防災交流センターの発電機始動用蓄電池、電気室空調機の更新工事を行った。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>2</p> <p>防災交流センターは県庁舎バックアップ施設として、県サーバーの設置施設として極めて重要な施設であり、建物や付随する設備に不具合・故障が生じる前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する必要がある。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>岐阜県防災交流センターが平成11年に開館してから20年以上が経過しており、今後ますます施設設備の老朽化が進むことが予想される。</p> <p>今後も計画的に改修を実施し、老朽化・経年劣化等によるトラブルを解消していかなければならない。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>施設設備の老朽化・経年劣化等が進むなか、計画的に改修を実施する必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

記入しない項目欄は斜線を引いてください。

- | |
|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	千円	千円	千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
